

# 令和5年度 第1回東部地域まちづくり懇談会

日 時 令和5年11月20日(月)

午後2時00分

会 場 南茅部総合センター

## 次 第

1 開 会

2 座長挨拶

3 出席者紹介

4 議 題

(1) 函館市東部地域路線バスの現状と今後のあり方について

(2) 地域活性化の取り組みについて

① 北海道教育大学函館校「地域づくり支援実習」について

② 各支所の状況報告

③ その他（今後の議題について）

5 そ の 他

6 閉 会

令和5年度 第1回東部地域まちづくり懇談会 出席者名簿

地域	団体	役職	氏名
戸井	戸井地区町会連合会	会長	まつ だ まさ し志 松 田 正 志
	戸井漁業協同組合		欠 席
	函館東商工会	筆頭理事	せき や はじめ 関 谷 一
	函館市第26方面民生児童委員協議会	会長	うえ の のり こ子 植 野 範 子
	函館市戸井支所	支所長	さ と う けん いち 佐 藤 賢 一
恵山	恵山地区町会連合会	会長	おさ だ まさ ひろ洋 長 田 征 洋
	えさん漁業協同組合		欠 席
	函館東商工会	事務局長	はたけやま せい いち 昌 山 晴 一
	函館市第27方面民生児童委員協議会	会長	つた ひで こ子 薦 秀 子
	函館市恵山支所	支所長	せい と う いっ み実 清 藤 一 実
楳法華	楳法華地区町会連合会	会長	かわ ぐち ひで たか孝 川 口 英 孝
	えさん漁業協同組合楳法華支所		欠 席
	函館東商工会		欠 席
	函館市第28方面民生児童委員協議会	会長	あら や とし ひこ彦 新 谷 敏 彦
	函館市楳法華支所	支所長	み はら かつ ゆき幸 三 原 克 幸
南茅部	南茅部町内会連絡協議会	会長	くま がい ぎ いち 熊 谷 儀 一
	南かやべ漁業協同組合	専務理事	なか むら まさ とし俊 中 村 正 俊
	函館東商工会	副会長	さ と う しゅん じ司 佐 藤 俊 司
	函館市第29方面民生児童委員協議会	会長	さ さ き まさ こ子 佐 々 木 昌 子
	函館市南茅部支所	支所長	いけ だ とし はる春 池 田 敏 春
事務局	戸井支所地域振興課	主 査	つち や えい じ司 土 屋 英 司
	恵山支所地域振興課	課 長	み う ら ひろ ゆき之 三 浦 弘 之
		主 査	き 佐 の のぶ ひこ彦 佐 野 の 暢 彦
	楳法華支所地域振興課	課 長	いわ い たけし 岩 井 丈
		主 査	にし かわ ひろ 裕 西 川 裕 志
	南茅部支所地域振興課	課 長	と やま さとる 覚 外 山 覚
		主 査	おお すみ ひろ ゆき之 大 住 洋 之
オブザーバー ほか	企画部計画推進室交通政策課	課 長	よこ やま のり かず一 横 山 敬 一
		主 査	わた なべ たい き輝 渡 辺 大 輝
		主任主事	ぬま た しん のすけ 輔 沼 田 伸 之 輔

# 函館市地域公共交通計画（素案）の概要

## 1. はじめに

### ■ 計画策定の趣旨

人口減少や少子高齢化が進行している中、新型コロナウイルス感染症の影響により、公共交通事業を取り巻く環境はより一層厳しさを増し、将来にわたっての公共交通の需要低迷が懸念されています。

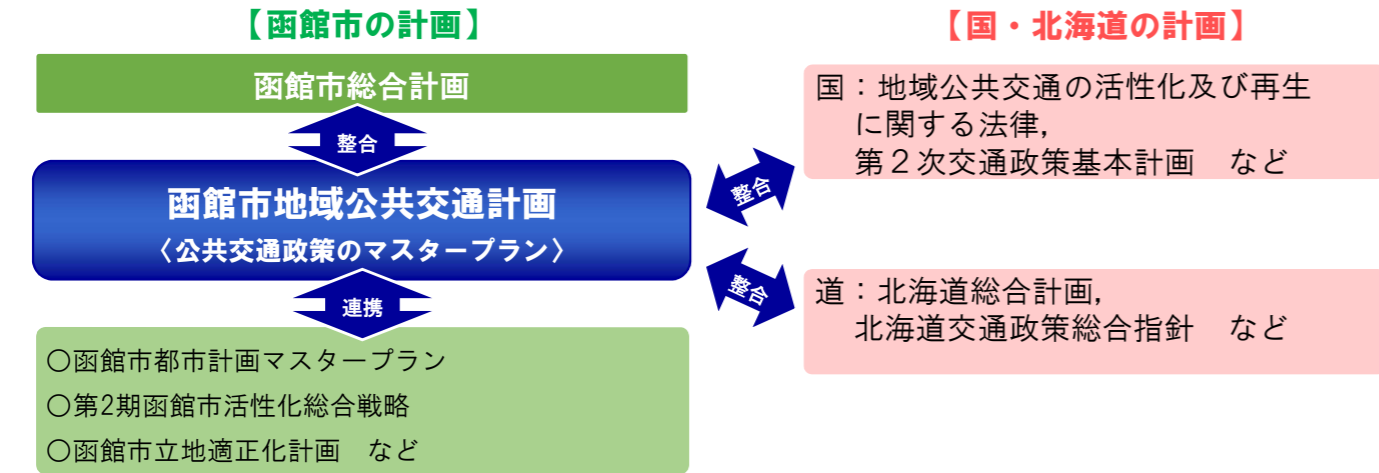
こうした背景を踏まえ、地域住民の生活などを支える持続可能な交通体系を構築するため、地域の公共交通政策のマスタープランとなる「函館市地域公共交通計画」を策定します。

### ■ 計画区域・期間

- 計画区域は、函館市全域を対象区域として設定します。
- 計画期間は、令和6（2024）年度～令和10（2028）年度の5年間とします。

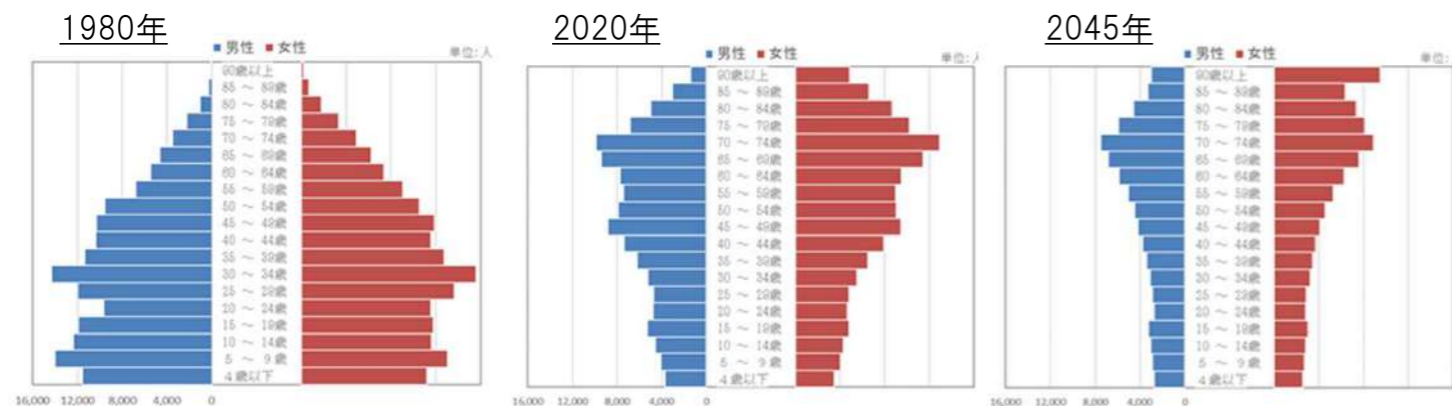
## 2. 計画の位置付け

本計画は、国の関係法令・関連計画や北海道の関連計画を踏まえ、本市総合計画、関連計画等と整合・連携を図りながら、地域の公共交通政策のマスタープランとして、策定するものです。



## 3. 函館市の人口の特性・現状

- 函館市の人口は減少傾向であり、市の人口ビジョンによると令和27(2045)年には、人口が最多であった昭和55(1980)年の約半分の17.3万人になる予想となっており、高齢化率も北海道平均より高い水準で推移しています。
- そのため、高齢者にとっての利便性に配慮した、全世代が利用できる交通網の形成を行う必要があります。



【1980年 高齢化率】  
函館市：9.2%  
北海道：8.1%（参考）

【2020年 高齢化率】  
函館市：35.5%  
北海道：32.2%（参考）

【2045年 高齢化率】  
函館市：45.4%  
北海道：42.8%（参考）

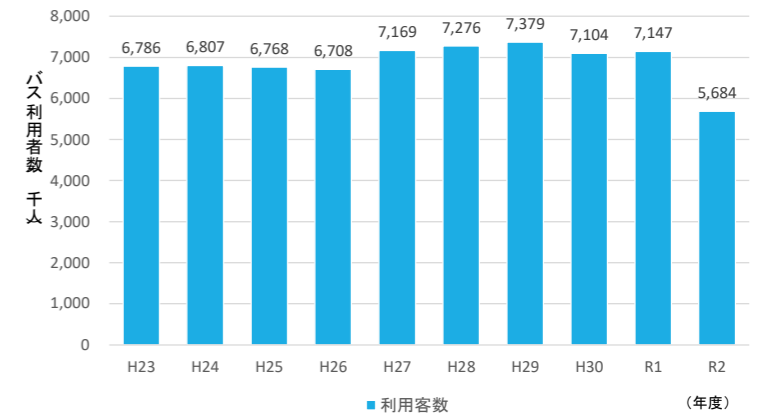
資料：国勢調査、函館市人口ビジョン（令和元年改訂版）

## 4. 公共交通の現状

### ▼ 路線バスネットワーク（函館市街部）



### ▼ 路線バスの利用者数推移



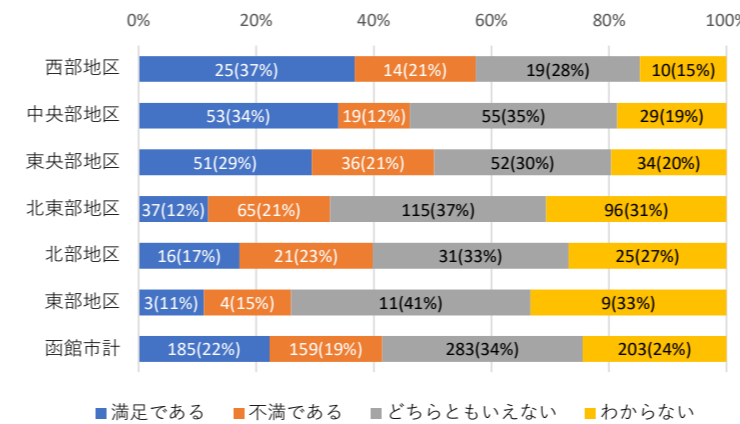
資料：函館市統計書

- 市街部については、各系統が複雑に入り組んでおり、運行の効率性や路線のわかりやすさに課題があります。

- 市内のバス利用者数は横ばい状態でしたが、令和2年度においては新型コロナウイルス感染症の影響で、大幅に減少しています。

## 5. 市内における移動特性・ニーズ

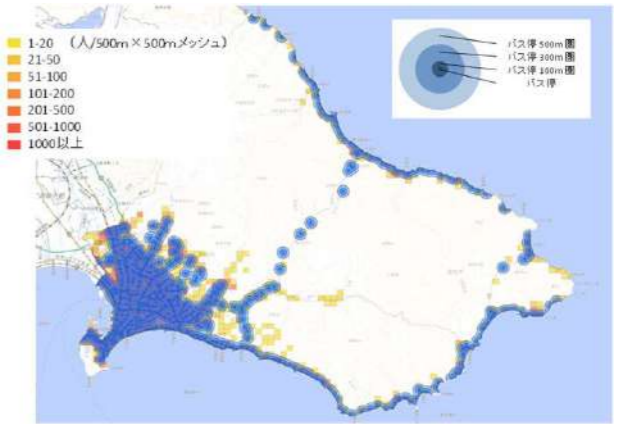
### ▼ 地区別の公共交通に対する満足度



資料：市民アンケート調査（令和4年9月）

- 北東部、北部、東部にお住まいの方は、満足している割合が他の地区より少なく、わからないとどちらともいえないを合わせると6割を超えています。

### ▼ 函館バスのサービスエリア



- バス路線の沿線人口は、500mで見ると市内人口の約95%をカバーできていますが、一部、カバー率が低い地区が存在しています。

## 6. 解決すべき公共交通の課題

各種調査等の結果、洗い出された函館市内の公共交通に関する問題点を踏まえて、本計画で対応すべき公共交通の課題をとりまとめました。

課題①：バス路線網が複雑に入り組んでいるなど、高齢者の通院・買物、通勤・通学、観光客にとって利用しにくい

課題②：路線バスなどの公共交通の利便性が低いエリアが存在

課題③：人口減少に加え、コロナ禍により、路線バスなどの利用者数が低迷

課題④：バス・タクシードライバーの高齢化などにより、公共交通の担い手が不足

# 函館市地域公共交通計画（素案）の概要

## 7. 計画の基本的な方針・目標

**基本理念：まちづくりと一体となった  
将来にわたって持続可能な公共交通ネットワークの構築**

### 基本方針

#### I 市民生活を支える効率的で利便性の高い公共交通ネットワークの形成

- 路線バスや市電などの公共交通は、今後、さらなる増加が想定される移動手段をもたない高齢者の通院・買物などの生活の場面や、通勤・通学など、市民生活の多くの場面で必要とされています。
- 路線網のわかりにくさに加え、公共交通の利便性が低いエリアも市内に存在していることから、「目指すべき将来の公共交通ネットワーク」をイメージしながら、効率的かつ利便性の高い公共交通ネットワークの形成を進めます。

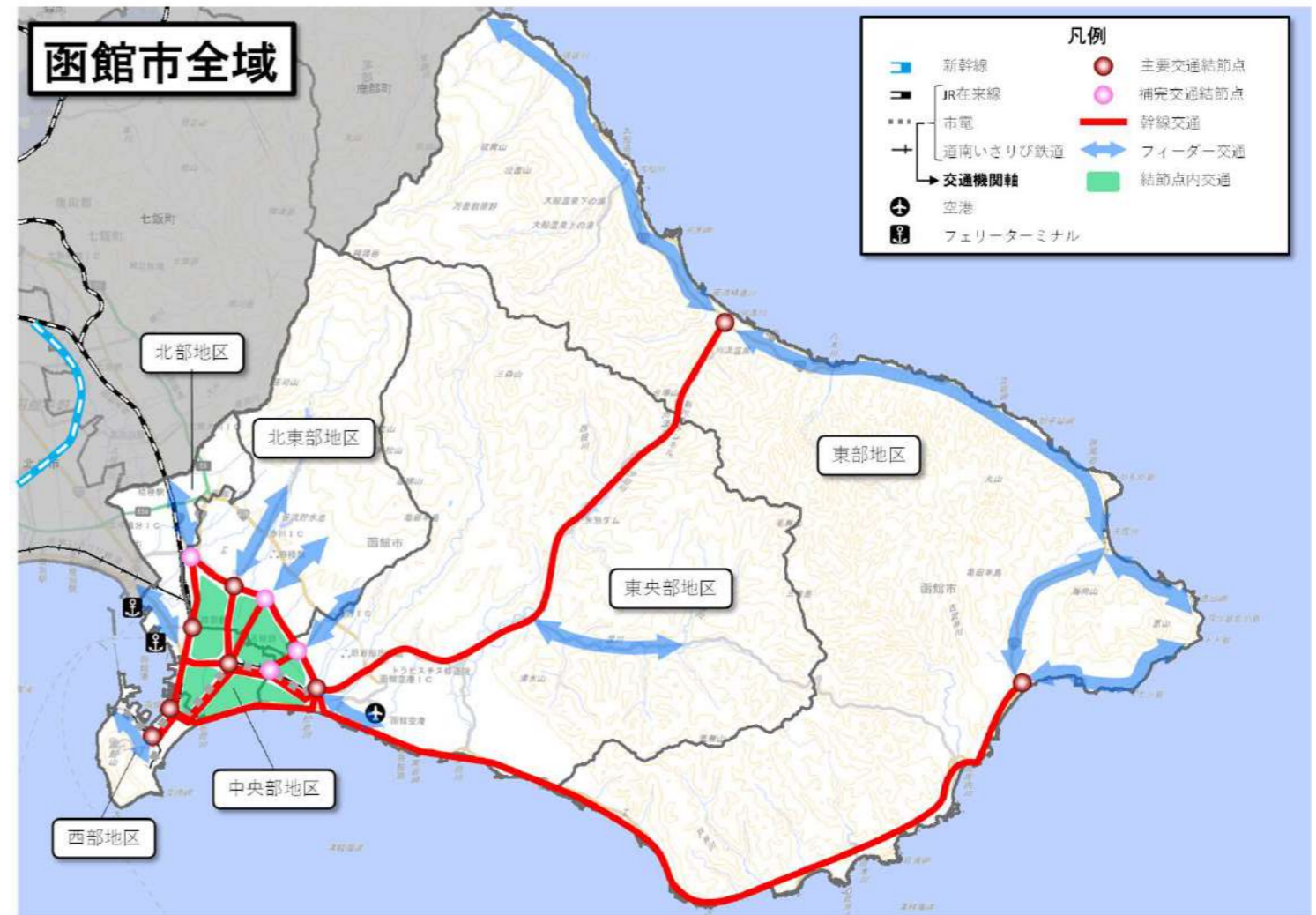
#### II 来訪者にとってもわかりやすい公共交通の形成

- 道内屈指の観光都市である函館市には、国内外から多くの観光客が訪れ、市電をはじめとする公共交通は市内観光の足として利用されています。
- 航空機や鉄道などの広域交通と市内交通が一体となり、市民だけでなく、来訪者にもわかりやすい切れ目のない公共交通の形成を目指します。

#### III 公共交通の持続性の確保

- 人口減少に加え、わかりにくい路線網、さらには新型コロナウイルス感染症の影響により、公共交通の利用者が低迷しています。加えて、公共交通の担い手不足も懸念されていますが、このような中であっても、市民生活や観光振興を支える公共交通は、将来にわたる持続性を確保していかなければなりません。

▼函館市の「目指すべき将来の公共交通ネットワーク」イメージ(函館市全域)



## 8. 基本方針の実現に向けた計画目標と目標達成のための施策

### 基本方針

基本方針 I  
市民生活を支える効率的で利便性の高い公共交通ネットワークの形成

基本方針 II  
来訪者にとってもわかりやすい公共交通の形成

基本方針 III：公共交通の持続性の確保

### 計画目標

計画目標①  
地区特性に応じた最適な運行形態による移動サービスの導入と再編

計画目標②  
交通機関間の接続の円滑化

計画目標③  
公共交通の利便性向上と意識醸成による利用促進

計画目標④  
地域公共交通の担い手確保

### 施策

- ① バス路線の維持および効率的な公共交通ネットワークの形成
- ② 地区特性に応じた運行形態の見直しによる交通の確保
- ③ バス路線網を踏まえた交通結節点の乗継利便性向上
- ④ 新技術を活用した新たな移動サービスの活用検討
- ⑤ 公共交通の利用促進に向けたソフト施策の推進
- ⑥ 来訪者にとっても公共交通を利用しやすい環境の構築
- ⑦ 公共交通ドライバーの確保

## 9. 計画の達成状況の評価

### 評価指標

	目標値 (現状)
① 公共交通利用者数の減少率と人口減少率の差	利用者数減少率 ≤ 人口減少率
② 乗合バス事業経常収支率	75% (67.6%)
③ 主要交通結節点利用者数	5,750人/日 (5,224人/日)
④ 公共交通利用者の満足度	30% (22%)
⑤ 公共交通ドライバーの確保に向けたイベントの参加人数	30人/回

### 3) 東部地区利用者（乗込み）アンケート調査

#### a) 調査概要

- 調査目的：東部地区における公共交通の利用実態の把握を目的として実施
- 調査時期：令和4（2022）年10月1日（土）～10月7日（金）
- 調査対象：東部地区で運行する路線バスの利用者
- 調査方法：利用者数のカウントおよび利用者への対面アンケート調査
- 調査項目：外出目的，乗車するバスの利用頻度，利用区間  
前後の移動手段，公共交通で重視するポイント  
回答者属性など（職業，年齢）
- 回答数：164票

#### b) 移動特性

- 東部地区で運行している路線バスを利用している人の外出目的は，通勤・通学が最も多く，次いで通院，買い物が続きます。

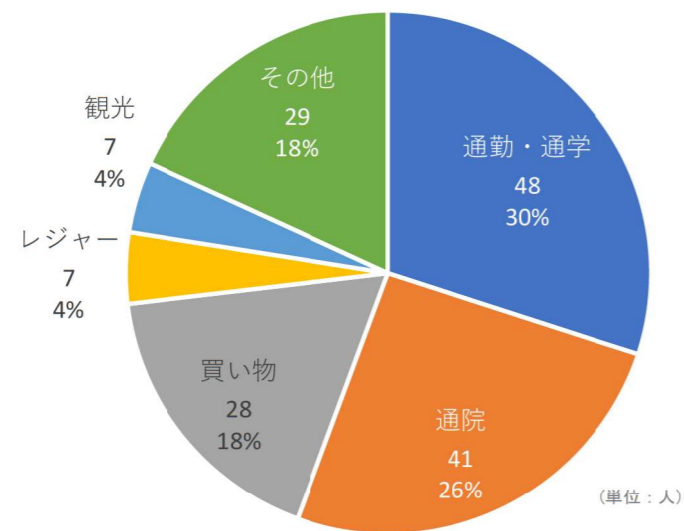


図 5-18 外出目的

- 東部地区で運行している路線バスを利用している人の利用頻度は，週5日以上と月に数日が約3割を占めています。
- 利用者が公共交通で重視するポイントとして挙げているのは，運行本数，自宅・目的地からバス停までの距離，時間通りの運行が多くなっています。

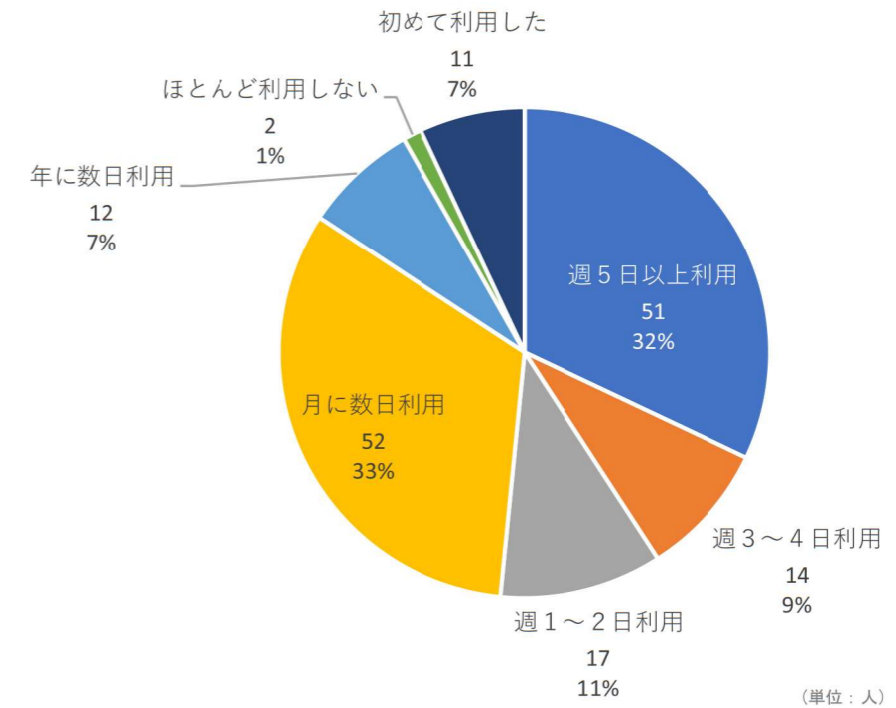


図 5-19 路線バスの利用頻度

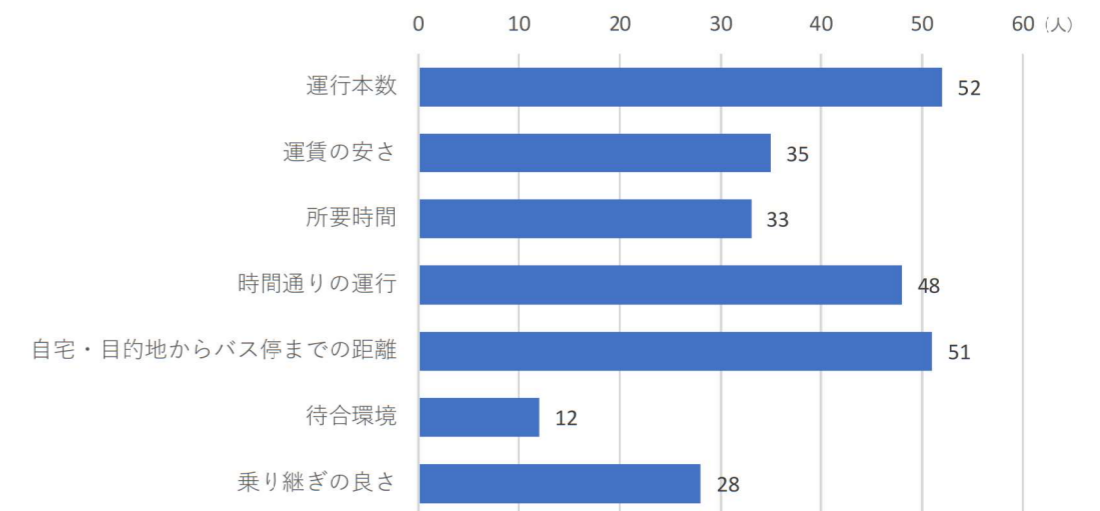
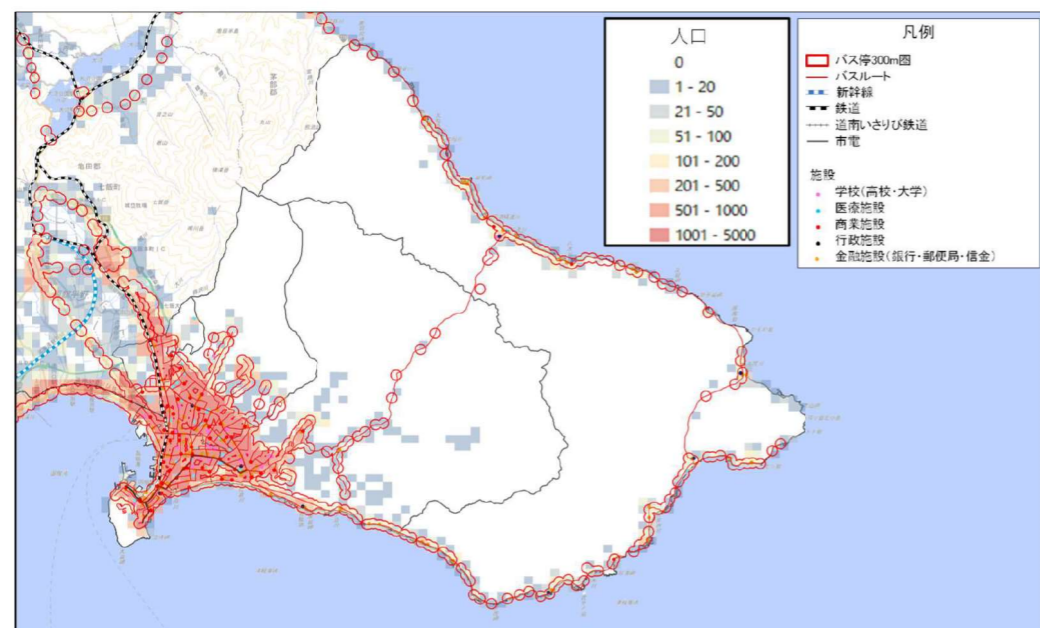


図 5-20 公共交通で重視するポイント

(6) 東部地区

1) 当地区の概況

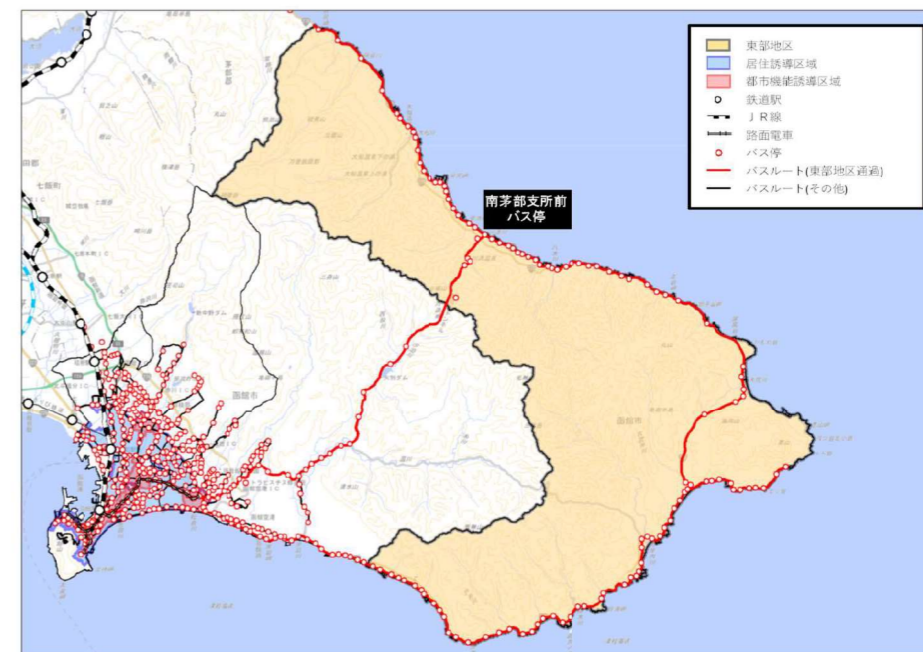
- 当地区は市の北東部に位置し、合併前の戸井町、恵山町、楸法華村、南茅部町の4区域からなる地区であり、主として森林と海岸沿いの漁業集落で形成されています。道立自然公園に指定されている恵山があるほか、令和3(2021)年に世界文化遺産に登録された「北海道・北東北の縄文遺跡群」の構成資産である大船遺跡と垣ノ島遺跡があります。
- 当地区の人口は市全体の約4%を占め、高齢化率が48.6%と最も高齢化が進んだ地区となっており、今後も更なる人口減少が予想されています(令和22(2040)年/令和2(2020)年比で約69%まで減少見込み)。



資料：国土数値情報（500mメッシュ別将来（2040）推計人口，平成30（2018）年国政局推計）  
函館バス GTFS データおよび函館バス HP

図 6-16 東部地区の概況（人口・施設立地）

2) 当地区の公共交通



資料：函館バス GTFS データおよび函館バス HP

図 6-17 東部地区の公共交通

a) 鉄道

- 地区内に鉄道駅は無し。

b) 市電

- 地区内に市電電停は無し。

c) 路線バス

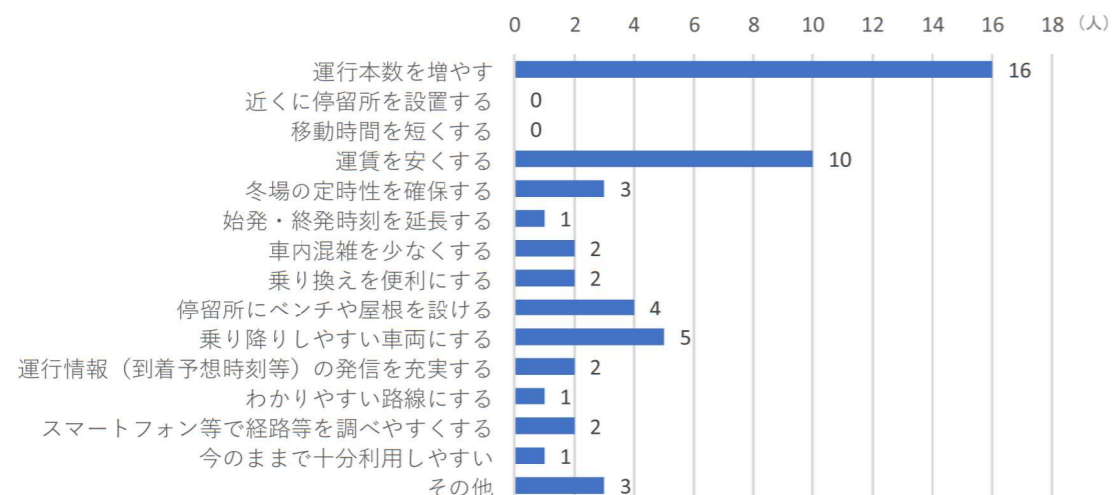
- 9系統（平日：46本/日，休日：41本/日）運行（令和4(2022)年10月時点）。
- 市内中心部からは、戸井地区側から乗り入れる路線と、南茅部地区側から乗り入れる路線があり、それぞれ日ノ浜団地前バス停と、南茅部支所前バス停が乗継ぎ拠点となっています。
- 南茅部地区側は鹿部町方面とも結ばれています。

d) 市営などの生活圏交通

- 地域福祉バスや病院送迎バスなど、地区内には交通空白地域を補う生活圏交通が運行しています。

e) 公共交通に対するニーズ

➤ 公共交通（路線バス・市電）への改善要望は、運行本数に次いで、運賃の高さや、乗降しやすい車両などが挙げられています。



資料：住民アンケート調査（R4.9）から東部地区在住の方の意見を抜粋

図 6-18 東部地区の公共交通に対するニーズ

3) 当地区の公共交通に関する問題点

当地区の概況や公共交通の運行・利用実態、移動特性を踏まえた当地区における公共交通に関する問題点は、下記のとおりです。

**問題点①：他地区より高齢化率が高く、移動手段を持たない高齢者の増加が見込まれる**

・高齢化率が48.6%と、市の平均（35.5%）よりも高齢化が進んでおり、今後更なる高齢化が進んだ際に、移動手段を持たない高齢者の増加が見込まれます。

**問題点②：路線バスの利用が低迷している**

・当地区の路線バスはいずれも利用者が少なく、補助金を投入しながら運行している状態にあり、バス路線の維持が困難になってきています。

**問題点③：バスの運行本数が少なく、バス停も離れていることから、交通の利便性が低い**

・人口自体が少なく、利用者が少ないこともあり、路線バスの運行便数が少ない、バス停まで離れている等の理由により、交通の利便性が低くなっています。

② 地区特性に応じた運行形態の見直しによる交通の確保

計画目標①④に対応

概要

本市郊外部のバス路線は、運行便数が少ないことや、バス停まで遠いことなどから、路線バスの利用者数が減少し、それに伴い便数が減少することで、さらに利便性が低下していく負のスパイラルに陥っています。そのため、慢性的な赤字路線となっており、国や道、市から多額の補助金が投入されている状況にあるほか、市街化区域においても、バス停まで遠いことや、急な斜面に宅地が立地しているなど、交通上の課題を抱えている地区があります。

人口分布・住民の年齢層・地形などの要因により交通上の課題は地区により異なるため、今後の持続可能な交通の確保を目指し、新たな交通の導入を含め、路線バスだけに頼らない地区特性に応じた運行形態の検討を進めます。

具体的な内容

**●路線バス利用者が少ないエリアの運行形態の見直し**

- ・東部地区は人口が少なく、路線バス利用者数も少ないという実情から、将来的なバス路線廃止を見据え、新たな交通の導入を検討する必要があります。
- ・運行車両の小型化、予約運行方式や自家用有償旅客運送の導入など、地域の実情に合った効率的な運行形態により、地域の足の確保を目指します。
- ・また、市が運行する地域福祉バスや学校等送迎バス、病院バス等の活用を検討する必要があるほか、ドライバー不足に配慮する必要があります。

**<参考>自家用有償旅客運送**

・自家用有償旅客運送とは、バス・タクシー事業が成り立たない場合であって、地域における輸送手段が必要な場合に、必要な安全上の措置をとった上で、市町村やNPO法人等が、自家用車を用いて提供する運送サービスです。活用すべき地域の多様な輸送資源のひとつとして国が示しており、「2種運転免許保有者」のほか、「自家用有償旅客運送の種類に応じた大臣認定講習を受講した1種運転免許保有者」が運転者となることが可能で、ドライバー不足への対応策のひとつとして期待されています。

**●公共交通の利便性が低いエリアの解消に向けた新たな交通の導入検討**

- ・北部地区には、バス停300m圏（概ね徒歩5分以内）人口カバー率が低く（約57%）、アンケート調査結果でも北部地区住民の公共交通に対する満足度が低いなど、バスの利便性が高いとは言えないエリアがあります。
- ・また、西部地区は函館山麓の急な斜面に宅地が立地しており、狭隘な細街路も多く、バス停・電停までの距離が遠いなど交通上の課題を抱えています。
- ・そこで、これらの地区における交通利便性を向上させるため、これまでの定時定路線型のバス路線だけでなく、AIデマンド交通（詳細は施策④参照）などを含む新たな技術を用いた交通の導入などを検討します。

実施主体

交通事業者、行政

# R4・5年実施 【地域づくり支援実習】について

函館市南茅部支所地域振興課

## ～地域づくり支援実習とは～

北海道教育大学函館校（地域協働推進センター）との連携

東部4地域（南茅部）を実習地とした  
「国際地域イノベーター人材養成プログラム」  
専攻科目（地域づくり）ソーシャルクリニックの展開



## ○北海道教育大学函館校との連携

平成17年『函館市と北海道教育大学の相互協力協定』締結

- (1) 地域づくりや地域発展に関すること
- (2) 地域福祉や環境問題に関すること
- (3) 地域の国際化に関すること
- (4) 地域文化・スポーツ・芸術の振興・創造に関すること
- (5) 学校教育における教育支援に関すること
- (6) 生涯学習に関すること
- (7) 高等教育機関と地域の連携に関すること
- (8) 産学官の連携による地域産業の振興に関すること
- (9) 施設の相互利用に関すること
- (10) その他両者の協議により定める事項

## ○北海道教育大学函館校との連携

### ①公共交通のあり方ワークショップ（南茅部地区）

令和4年11月2日と12月16日の2日間

公共交通の減便・廃線に直面した際にどうすればよいかを  
教育大生と地域住民が話し合う

### ②地域づくり支援実習

## ○実習詳細

- ・ 期 間 …R4年度 8月22日～9月2日 (12日間)  
R5年度 8月14日～8月26日(13日間)
- ・ 宿泊場所…職員住宅, 宿泊施設
- ・ 学生負担…食 費:業務お手伝いの対価として  
交通費:負担なし  
宿泊費:負担なし

## NHK放送 R4実習状況



## ○R5実習詳細

- ・戸井…コンブ種苗センター, ウニ種苗センター,  
戸井ウォーターパーク, あ月の花, 戸井貝塚



敬称略

## ○R5実習詳細

- ・恵山…活火山恵山, 道の駅「なとわ・えさん」内飲食店  
(ふわふわ亭・なとわカフェ), うみまち食堂菜の花



敬称略

## ○R5実習詳細

- 榎法華…ホテル恵風, 水無海浜温泉, 恵山岬灯台, 恵山サーフビーチ, 熊鹿庁



敬称略

## ○R5実習詳細

- 南茅部…漁業者(個人)漁協直販加工センター(直売所), 飲食店(一松仕出し店・寿し処 山昇・寿し処 優鮨・寿し食事処 公楽・すし食事処 崑川・手打ちそば 久蔵・ホットステーション 珈夢), 縄文文化交流センター(道の駅「縄文ロマン南かやべ」, 垣ノ島遺跡, 大船遺跡)

R4のみ…漁協直販加工センター(昆布加工工場), 能戸フーズ, 宿泊施設(ひろめ荘・二本柳旅館)

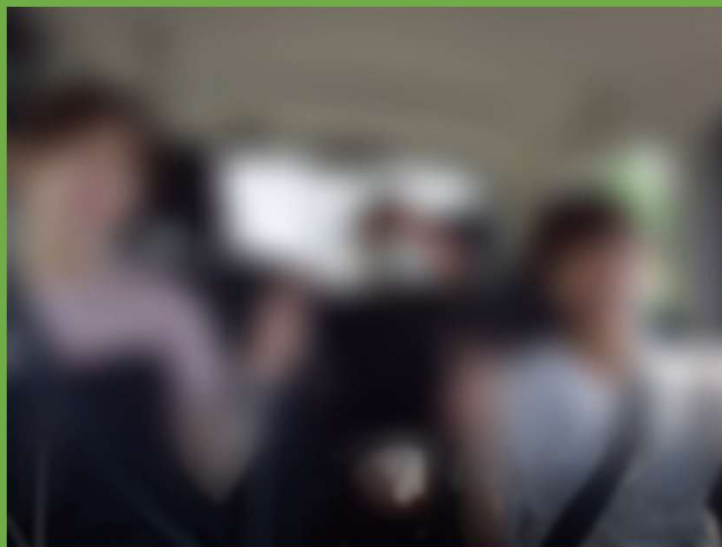
R5のみ…南茅部リバイブサロン

敬称略

## ～地域づくり支援実習の成果～

- 学生目線での意見  
(気づいていなかった魅力・課題・改善策)
- 地域住民の意識の変化
- 『縄文まつり』『ひろめ祭り』で吹奏楽部演奏

## 周遊ツアーシミュレーション(R5.8.26)



## ～今後の展望～

- 学生が地域活性のアイデアを地域住民に提案
- 学生が作成したツアーを公開・web等でPR
- 来年以降も継続して地域とのつながりを大切にし、一緒に課題解決の方法を考えたい

ご清聴ありがとうございました。



◎X (旧Twitter)：カックウ (茅空) @函館市南茅部地域  
@kakuukayabe

## 賑わい創出・地域活性化の取り組みについて（恵山地区）

### ○目的

道の駅「なとわ・えさん」が有する観光拠点施設としての機能を最大限に活用して、市が公募した道の駅なとわ・えさん出店者と地域住民等が協力・連携して各種イベントを企画・開催することで、恵山地区（ひいては東部地域全体）への誘客機能を強化し、賑わいの創出や地域の活性化を図る。

（令和5年度イベント開催予算： 653千円）

### ○イベント企画・開催の実施体制

#### 道の駅なとわ・えさんイベント実行委員会

- 道の駅出店者
  - ・てつまるナトワショップ, カフェ
  - ・ふわふわ亭
  - ・焼肉物語牛若
  - ・EGAO (美人ショップ)
- 地域住民等
  - ・恵山地域振興推進協会
  - ・うみまち食堂菜の花
- 函館市

協力・連携



#### 地域団体, 民間団体等

- ・つつじまつり実行委員会
- ・函館恵山Bike Love Meeting実行委員会
- ・函館東商工会
- ・ごっこまつり実行委員会

ほか

### ○令和5年度イベント開催実績

- ① 5月 (5/19~5/21)・・・恵山つつじまつりコラボ企画【6, 738人】
- ② 6月 (6/16~6/18)・・・単独イベント【3, 496人】
- ③ 7月 (7/1~7/2)・・・函館恵山Bike Love Meetingコラボ企画【4, 699人】
- ④ 8月 (8/18~8/20)・・・単独イベント【4, 031人】
- ⑤ 9月 (9/22~9/24)・・・函館東商工会「秋まつり」コラボ企画【7, 575人】
- ⑥ 10月 (10/21~10/22)・・・単独イベント【2, 474人】
- ⑦ 2月 (2/中旬予定)・・・恵山ごっこまつりコラボ企画 (予定)

### ○道の駅「なとわ・えさん」入込数の推移 (R3~R5)

R3年度 (年度計)	121, 405人【前年度比 △3%】	※直近5カ年(H29~R3)平均166, 320人
R4年度 (年度計)	227, 569人【前年度比+87%】	
R5年度 (4月~9月)	168, 947人【前年度比 +7%】	※R5年度は上半期の小計





海と灯台の  
絶景空間でくつろぐ、  
新たな休日を。

## 灯台ホリデイ in 恵山岬灯台公園

開催日 **10/7±8日9祝21±22日**  
**11/3祝4±5日18±19日** 10日間

開催時間 各日 **10:00~16:00**  
◎散策ツアー最終受付/15:20 ◎チェアリング最終受付/15:00

参加費 おひとりさま **1,500円** 事前予約で **500円割引!**  
参加費に含まれるもの(以下1~3)

- 1 灯台散策ガイドツアー [30分]
- 2 チェアリング [椅子貸出・ドリンク・菓子]
- 3 灯台パスポート [特典・割引ブック]

さらに  
こんな楽しみも!

- ドッグラン (小型犬・中型犬用、大型犬用)
- 地域産品の販売 「とどほっけマルシェ」
- 連別テーマ企画「ミニ緑日」 「外で体をうごかそう」など



## 2023年秋、初開催!

### 1 灯台散策ガイドツアー [30分]

海と灯台、恵山の開放的な景色を眺めながら歩き、恵山岬灯台の知られざる歴史・物語やトリビアを聞いてリフレッシュ!

雨天時 | ホテル恵風内の会場にて、映像「灯台物語」&クイズ(プレゼントつき)

### 2 チェアリング [椅子貸出・ドリンク・菓子]

自然の中で座ってくつろぎ、会話や読書、飲食を楽しむ、新しいアウトドア体験!  
※ドリンク1杯(珈琲、昆布スープ、ジュース、水)

雨天時 | ホテル恵風日帰り温泉入浴+室内チェアリング+ドリンク1杯+菓子

### 3 灯台パスポート [特典・割引ブック]

周辺のお店や施設がお得に楽しめる「灯台パスポート」を使って、函館東部エリアを満喫!

特典例 | ホテル恵風・ひろめ荘 日帰り入浴が半額



1890(明治23)年に初点灯。北海道庁が海の安全体制を整備しようと、道内28カ所に建設した灯台のひとつです。約130年間のうち、その光が消えたのは、戦時中のたった3か月間のみ。多くの人々の努力で灯台が守られ、船が安全に航行でき、街の発展、そして私たちの暮らしがあります。



芝生園地・遊歩道や遊具を備えた恵山岬灯台公園 快適な地元ガイド

### チェアリングの効果



会場/恵山岬灯台公園(雨天時:ホテル恵風) 函館駅から車で約1時間 ※当日、恵山岬灯台公園内は本イベントに参加されない方も自由にご利用いただけます。

### もっと 楽しみたい方に おすすめ 灯台ホリデイ参加券つき宿泊プラン [開催日の前日 or 当日限定]

ホテル恵風 おひとり様1泊2食 **17,000円** (税込)

夕食は、鮑の踊り焼き・ステーキ・握り寿司... 恵風一番人気のコース料理。 ※くわしくはホームページへ



ひろめ荘 おひとり様1泊2食 **15,000円** (税込)

夕食は海の幸和食膳、朝食は活イカ食べ放題。(漁により中止の場合あり) ※くわしくはホームページへ



主催: 恵山岬灯台活用協議会 共催: 日本財団 海と日本プロジェクト  
協賛: 新道南温泉株式会社(ホテル恵風・ホテル函館ひろめ荘)・株式会社ツガイナカ中村漁場  
※このイベントは、日本財団「海と日本プロジェクト」の一環です



## 「地域おこし協力隊」の概要

### 1 「地域おこし協力隊」について

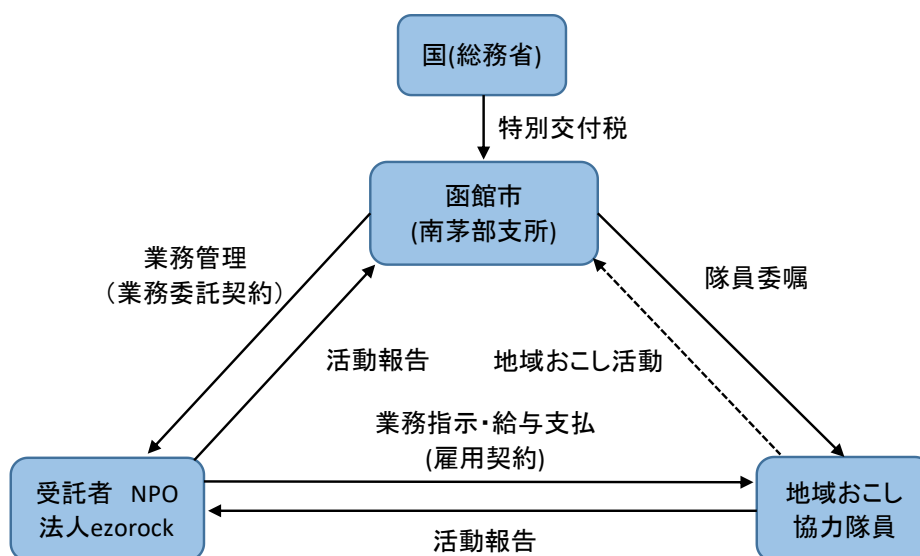
#### (1) 制度の概要

首都圏等の都市地域から意欲ある人材を、過疎地域等の地方公共団体が「地域おこし協力隊員」として委嘱。隊員は、地域に実際に移住して地域ブランドや地場製品の開発・販売・PR等の「地域協力活動」を行う。終了後には、その地域への定住・定着を図る国（総務省）の制度（活動期間は概ね1年以上3年以下）。

(2) 国の支援：総務省が隊員1人あたり480万円を上限に財政措置（特別交付税）。

(3) 現状：R4年度隊員数6,447人，取組団体数1,118団体 任期終了後，同地域定住：約6割

### 2 函館市（南茅部支所）地域おこし協力隊員導入イメージおよび内容



(1) 地域おこし協力隊員は函館市が2名を委嘱する。

(2) 函館市がプロポーザルにより選定したNPO法人ezorockが地域おこし協力隊員を雇用して業務管理を行う。

(3) R5. 10. 16 から1名が着任済み。もう1名は12月着任予定。

### 3 地域おこし協力隊員が行う業務

(1) 南茅部地域の観光振興：地域観光資源の発掘と商品化。お土産品，飲食メニューの開発。観光関連団体との連携促進。イベントの企画。旅行代理店等との連携による新たな旅行プランの提案など。

(2) 南茅部地域の水産振興：水産業の課題の洗い出し。水産物の商品化・ブランディング（独自のブランドを作り商品価値を高める）。水産業後継者対策。水産資源を活かした環境保全の推進など。

(3) 南茅部地域の情報発信と地域交流：SNSや動画投稿サイトを活用した活動状況の情報発信。支所発行の広報物の作成。観光客と地元住民との交流イベントの企画・実施。世界遺産を生かした地域づくり懇談会開催業務。道教育大函館校との連携による地域づくり支援実習の補助業務など。

令和5年度第1回東部地域まちづくり懇談会 参考資料

「4 議題 (2) 地域活性化の取り組みについて ② 各支所の状況報告」において、戸井支所および榎法華支所の資料に新聞切り抜き記事がありましたので、参考までに各リンクを下記のとおり添付いたします。一部会員限定記事となっていることから、そのほか参考となる web 上のサイトのリンクも添付いたします。

戸井支所

- ・北海道新聞会員限定記事リンク (2023.8.24)

[「羽二重」食感ふんわり 和菓子店「あ月の花」=函館市](#)

- ※参考：函館経済新聞リンク (2023.3.20)

[函館に和菓子店「あ月の花」 岡崎から移住した和菓子職人が開業](#)

- ※参考：[あ月の花](#) X (旧 Twitter)

榎法華支所

- ・北海道新聞会員限定記事リンク (2023.11.1)

[榎法華地区を人が集う場に ドッグランやマルシェ、若手3人が恵山岬灯台で催し 「一過性でない活動を」](#)

- ・北海道新聞会員限定記事リンク (2023.11.7)

[シカ肉を加工 ペットフードに 北條壮史さん \(31\)](#)

- ※参考：函館経済新聞リンク (2023.9.29)

[函館・恵山岬灯台で「チル体験」を楽しむ新イベント 地元の若者らが企画](#)

- ※参考：[恵山岬灯台活用協議会 公式ブログ](#)

- ※参考：[熊鹿庁](#) X (旧 Twitter)

5 その他：市民の声「[函館市東部地域まちづくり懇談会について](#)」

(受付年月日 令和5年6月27日)